

ビル管理士（建築物環境衛生管理技術者試験）のテキストに誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、ここに訂正させていただきます。

市ヶ谷出版社刊 令和2年度版 ビル管理士 要点テキスト I 正誤表			
頁	行	誤	正
1	2	WHO憲章	WHO憲章を削除
5	7	特定用途は、表 1.2.2に示すように…	特定用途は、表 1.2.1に示すように…
6	1	「第1条学校等以外の学校(研修所を含む。)」	「第1条学校等以外の学校(研修所を含む。)」を削除
9	表1.2.4の下部※	…含有率は、1日中連続測定した平均値を持って	…含有率は、各時点で測定した値の算術平均を持って
14	2	…、特定建築物ごとに建築物環境衛生技術者を選任する。…	…、特定建築物ごとに建築物環境衛生管理技術者を選任する。…
15	4	建築図面・設備図面	建物の平面図・断面図
23	18	…97条において以下の用の規定されている。	…97条において以下のよう規定されている。
103	4	…「エアロゾル粒子」同じだが…	…「エアロゾル粒子」と同じだが…
104	12	500<Re<105：ニュートン域	500<Re：ニュートン域
105	16	垂直な面では大粒子径の沈着速度が大、	垂直な面では大粒子径、小粒子径がともに沈着速度が大、
108	7	(10)の番号のみを削除し、文章は(9)に続け、右欄のように修正する。	(9)…結露はさらに進展させる。内部結露を防止するには、内断熱材の内部に室内の湿気を浸透させないために、断熱材の室内側に防湿層を設ける。 (11)の番号を(10)に修正する
116	図3.3.1	縮流域	縮流域を削除
121	図3.4.3	暖房時の空気線図の(蒸発式)	(気化式または水噴霧式)
123	下から3行目	…同じ温度の乾燥材で吸収していくと、絶対湿度と相対湿度…	…同じ温度の乾燥剤で吸収していくと、絶対湿度と相対湿度…
130	表3.4.3の右上	捕集率	捕集率
153	8	100℃以下の温水	100℃未満の温水
161	9	住宅の冷暖房	ホテルの冷暖房
185	18	面音源	別紙1のように修正
188	21	⑮低周波数の全身振動よりも、高周波数の全身振動の方が感じやすい。	削除 ※次の行の⑯を⑮に繰り上げ

別紙1 P185 18行目からの6行分を次のように修正する。

P.185の6行を次のように修正する。

音の距離減衰（常識として覚えること）

点音源：音源が点である場合や音源からある程度離れている場合

$$\text{減衰量 } A \text{ (dB)} = 20 \times \text{Log}_{10} (r/r_0)$$

距離2倍で約6 dB減衰、距離3倍で9.6 dB、距離10倍で20 dB減衰。

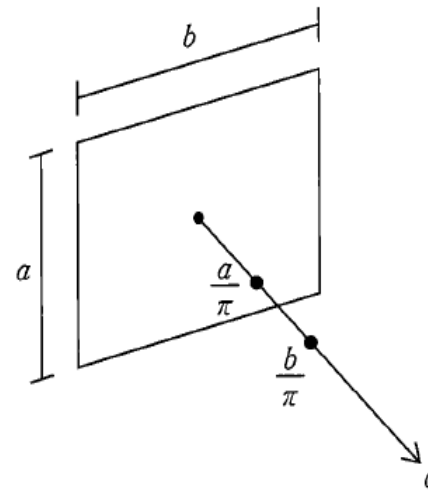
線音源の場合（音源が列車や道路などの直線である場合）

$$\text{減衰量 } A \text{ (dB)} = 10 \times \text{Log}_{10} (r_1/r_0) \quad r_1 \leq \text{線音源の長さ}/3 \text{ の場合}$$

$$\text{減衰量 } B \text{ (dB)} = 20 \times \text{Log}_{10} (r_2/r_0) \quad r_2 \geq \text{線音源の長さ}/3 \text{ の場合}$$

線音源が相当長い場合、距離2倍で約3 dB減衰、距離3倍で4.8 dB、距離10倍で10 dB減衰。

面音源の場合（音源が工場の壁面などの面である場合）



$$r_1 \leq a/\pi \text{ の場合} \quad \text{減衰量 } A \text{ (dB)} = 0$$

面音源の特性を示し、減衰はない。

$$a/\pi \leq r_2 \leq b/\pi \text{ の場合} \quad \text{減衰量 } B \text{ (dB)} = 10 \times \text{Log}_{10} (r_2/r_0)$$

線音源に対応する減衰特性を示す。

$$r_3 \geq b/\pi \text{ の場合} \quad \text{減衰量 } C \text{ (dB)} = 20 \times \text{Log}_{10} (r_3/r_0)$$

点音源の特性を示す。